



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

平成30年9月号

平成30年8月28日

さいたま市立下落合小学校

電話 852-2280

FAX 852-0188

「自由と好き勝手」

校長 横井寿彦

今年の夏は、例年になく異常気象が続きました。猛暑を超えての酷暑の日の連続。1学期の終業式も子どもたちの体調を考慮し、校内放送を使って、音声だけの教室での終業式としました。子どもたちが楽しみにしていた夏休みの水泳指導も、暑さのため中止になった日もありました。熊谷市では国内最高気温を記録しました。また、7月に発生した台風12号は、東から西へ進むという、今までにない進路をとり、全国各地に甚大な被害をもたらしました。何か地球全体が悲鳴をあげているかのようです。私たち大人はもちろん、子どもたちにも、自分たちが住んでいるこの素晴らしい地球の将来について考え、何か行動を起こしていかなければいけないなあと痛切に感じています。

そんな中、夏休みにうれしいニュースが入ってきました。本校の児童が、第15回文部科学大臣杯小・中学校囲碁団体戦全国大会で準優勝・銀メダルを獲得しました。昨年も同じメンバーで全国大会に進み3位入賞でしたが、今年は準優勝です。2年連続で全国大会に行くことも難しいのにさらに順位をあげたのには、本人たちの努力はもちろんですが、周りで指導していただいた方々、サポートしていただいた方々のおかげだと思います。ありがとうございました。子どもたちの活躍は、本当に嬉しいの一言です。

囲碁に限らず、一流と呼ばれる人たちを見ていて、共通しているなあと感じるがあります。それは、「基本である型をしっかり身につけている」ということです。仮に囲碁を全く知らない人に「自由に打ってごらん」と言って自分勝手に打たせ、全国大会まで行けるでしょうか？1回くらい勝てるかも知れませんが、勝ち続けることは無理でしょう。基本である型をしっかり学び、何回も何回も繰り返しながら身につけ自分のものにし、ようやく自分らしさが出てくると思うのです。始めから個性など出てこないのです。「自由に歌ってごらん」とか「自由に踊ってごらん」と言われても、私などは自由に歌ったり、踊ったりはできません。せいぜい覚えている歌を真似して口ずさむことくらいです。

目を学校やご家庭に向けてみましょう。どうでしょうか。あたかも子どもの個性を尊重するかのごとく「自由」という名のもと、好き勝手に行動させていることはないでしょうか。「自由」と「好き勝手」は違うのです。自由の翼を手に入れ個性を発揮するためには、型を身につけることが必要なのです。そして、そのためには、我慢や苦痛が少なからず伴うのです。「子どもが嫌がるからやらせない。」では、決して身につかないのです。

さあ、2学期が始まりました。学校や家庭にはルールがあります。それは、大きくなって社会に出ていくために必要な型を身につけるためのものです。その中でも「あいさつ」は基本中の基本です。下落合小学校では、子どもたちが「自由の翼」を手に入れ、大空に飛び出していけるよう、ご家庭や地域の皆様と連携をとりながら、今後も教育活動を進めてまいります。2学期もご理解・ご協力の程、よろしくお願いたします。